

NSC Database Library

NSCデータベース製品（NSCStandard版）のご案内

お客様が保有する情報システム環境との親和性を確保するため、公益財団法人国土地理協会が提供する全国町字ファイルの11桁住所コード(町丁単位)に準拠した、NSCStandard版データベースのラインナップを紹介します。

商業統計調査

商業統計調査とは

商業統計調査は、商業の実態を明らかにすることを目的としており、その範囲は日本標準作業分類の「大分類 I 卸売・小売業、飲食店」に属する事業所のうち、飲食店を除く事業所を対象として、該当する事業所数・売場面積・年間販売額等を把握するための稀少な調査データです。

特にマーケティングの分野では、地域における商業施設の立地状況、販売量・効率とその動向等の把握に用いられるとともに、商業人口、小売中心地性といった指標に加工することで、他の統計では把握困難な買物目的の流動人口を推定することが可能となります。

当社では、この商業統計調査データを、独自の処理により最新の地域区画に編集し提供しています。なお商業統計調査では、町丁別の集計値は公表されていません。当社では、小売業に限定していますが、公表されたメッシュ別データを基に、最新の町丁区画へ再編集し提供しています。

新たな業種・業態・チャネルの出現、少子高齢化が進展するといった社会状況の中で、より精度を求められる出店戦略、売上目標の設定等に当データベースをお役立てください。

商業統計調査指標区分

商業統計調査指標区分
小売業事業所数
小売業従業者数
小売業年間商品販売額
小売業売場面積
商業人口
小売1店当り年間商品販売額
小売1店当り売場面積
小売従業者1人当り年間商品販売額
小売売場面積当り年間商品販売額

※当データベースの提供年次は、2014年です。

商業統計調査(活用事例・価格)

概要

最新の住所・地域区画(町丁)への対応と秘匿値の推計

商業統計調査の最小単位での公表値はメッシュ単位となっています。メッシュ単位の場合、地域区画の変動がなく全てが同一の面積を持つというメリットがある反面、地名との関連がなく地域の特定が困難というデメリットもまた併せ持ちます。

当社では、各種の地域情報を基に、メッシュ単位のデータを最新の町丁区画に再編集しています。また、再編集にあたっては、公表値に多くみられる売場面積・年間商品販売額等の秘匿値についても、独自に推計しています。

★注意事項

2014年の商業統計は過去の調査と対象事業所の把握方法、調査方法が大きく異なっています。

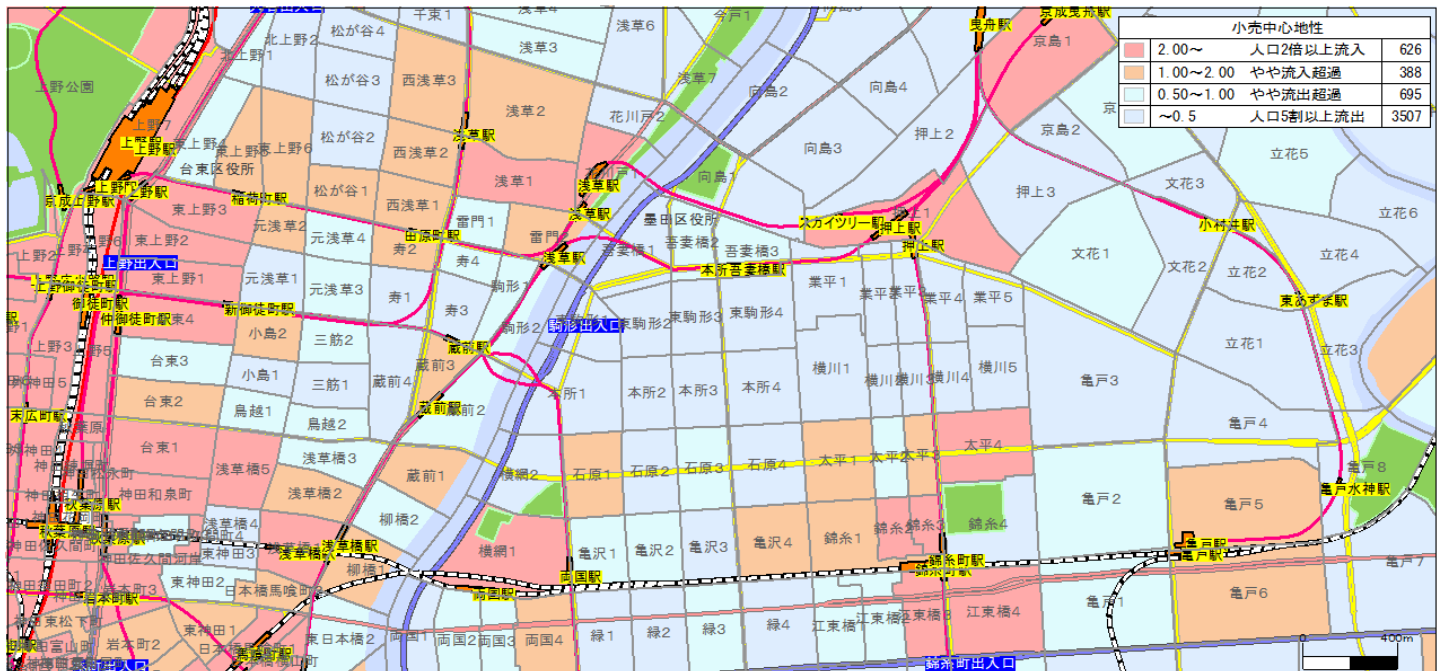
また、町丁別の推計方法自体も過去のものとは異なります。よって過去データとの時系列での比較を行う場合は、これらのことを十分に考慮する必要があります。

★活用事例

- ・ハフ型モデル、重回帰分析等への投入変数として⇒販売目標・商圈エリアの設定時等に。
- ・出店候補地の商業地としての水準・動向等の把握、既存店立地の評価⇒店舗等の立地選定・リロケーション検討時等に。
- ・時系列でみることにより、地域の動向(商核の移動、地域構造の変遷等)を把握するための指標として。

サンプルマップ

【小売中心地性による階級マップ】



小売中心地性(顧客流出比率) = 商業人口 ÷ 人口 ※

商業人口 = 年間商品販売額 ÷ 都道府県内人口1人当年間商品販売額

※人口については別途ご購入していただく必要があります。

価格

価格は、地域・利用クライアント数により変動致します。詳細についてはお問い合わせください。

全国 500,000円、1都3県 91,200円、東京都 32,000円 (例: 1クライアントの場合)

※上記金額は、消費税別価格です。(提供形態により別途編集費用が必要となります。)

お問い合わせ先

東京・大阪・北九州の各拠点、または homepage@nihon-toukei.co.jp

※ご購入後のデータ活用方法についても、お気軽にお問い合わせください。